

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞 第140号



2018年5月23日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: [yv2t-tnk@asahi-net.or.jp](mailto:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp)

238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



2018.05.01 第89回メーデー横須賀・三浦地区集会のヴェルニー公園

## 合宿講義 No. 6

### 太陽系の仲間たち

by 事務局長

太陽・月・惑星をはじめ、7大衛星や小惑星、19・20世紀の大彗星について、映像や自身の思い出を交えながら紹介しました。

太陽は地球の109倍。—27等。月は1/4。水星は最小の惑星で1/3。金星は同じ大きさ、厚い硫酸の雲。—4等。火星は半分、ドライアイスの極冠。オリンポス山は太陽系最大の火山。—2等。木星は11倍。4つのガリレオ衛星。大赤斑は巨大な台風、数百年存続。土星は約9倍。輪が有名。天王星は4倍。メタンが青緑色に。地軸は横倒し。海王星は3.9倍。大きな衛星トリトンが有名。土星の衛星タイタンは大気を持ち、メタンの雨、川、湖。ドナチ彗星(1858年)は18世紀で一番美しく「八重の桜」で妖霊星と。センプテンパー・コメット(1882年)は太陽を掠める彗星群で、分裂して太陽を取り巻き、「真珠の首飾り」。ハレー彗星(1910年)は、東の空から西の空まで伸びる長大な尾。池谷関彗星(1965年)は、太陽表面から28万Kmを通過。ベネット彗星(1970年)は、20世紀で最も美しい彗星でした。ウエスト彗星(1976年)は、幅広い巨大な尾で、史上最も明るかったという説もあります。

## メーデー集会に280人!

5/1(火)、ヴェルニー公園で開催された、第89回メーデー横須賀・三浦地区集会には、14団体280人が参加しました。

今年は天気にも恵まれ、土建さんのご協力により、音響も問題なく、集会を成功させる事ができました。

集会では、神奈川労連、原子力空母市民の会、県労働センターの連帯挨拶を受け、3000万署名・横須賀の中川代表からの連帯メッセージが読み上げられました。

5/14(月)、平和行進が三浦・横須賀に入ってきました。横須賀は今年、初めての試みとして、コースを2つに分け、GNF-Jの前のコースも出来、藤枝事務局次長がコールをしました。もう一つのコースは衣笠で、久々のパレードに、沿道の商店や民家から人が出てきたり、窓から手を振ったりと好評でした。市内の市民団体にも声を掛け、パレードの声を聞いて飛び入り参加してくれた人もいました。参加者は両コース合わせて110人でした。

## 労働学校、好評です!

5/12(土)、横須賀三浦地域労働学校第2回講義に、十人が集まりました。テーマは、「『我が事・丸ごと』地域共生社会で社会保障はどうなるか~健康で文化的な最低限度の生活をめざして~」。県社保協事務局長の根本隆さんの講義は、横須賀市社保協に続き2回目ですが、今回の講義は、さらに問題点を掘り下げ、わかりやすい内容になっていました。今回、ビデオ撮影をしています。希望者にはDVDを貸し出しますので、お声をおかけください。

